

授業科目名	在宅看護の実践	担当者	野村 伊保美 宮谷 幸恵
単位	1単位		
時間数	30時間	学年	2年次
授業形態	講義	開講時期	後期
授業の到達目標	在宅看護で必要とされる医療処置技術や在宅療養者の状態別看護について学ぶことができる。		
授業の概要	1. 医療処置技術 1) 感染防止と感染症 2) 褥瘡予防とケア 3) 胃ろう(PEG)・在宅中心静脈栄養法 4) 在宅酸素療法(HOT) 5) 在宅人工呼吸療法 2. 在宅看護過程 1) 脳血管疾患療養者の在宅看護 2) 難病療養患者と家族への在宅看護 3) 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の療養者の在宅看護 4) 終末期療養者の在宅看護 5) 精神疾患をもつ療養者の在宅看護		
授業計画	1. 医療的ケアを必要とする方の退院調整について 2. 服薬管理と指導 3. 癌外来治療の実情とその支援について 4. 在宅経管栄養について 5. 在宅での輸液管理、実際、注意点について 6. 在宅における気管カニューレの管理 在宅酸素を利用されている方の看護 7. 在宅での人工呼吸器の管理 8. 気管切開をして呼吸器を装着されている方の看護 9. バルーンカテーテル、ストーマ装着者の注意点、観察項目 10. 糖尿病患者のインシュリン注射の看護 11. 腹膜透析の管理 12. 在宅で多い皮膚疾患の援助 13. 疼痛管理 14. グループワーク(事例問題)		
テキスト	在宅看護論② 在宅療養を考える技術		
評価の方法・基準	筆記テスト		